

チャイルドシートで 大切な**お子さんの命**を守りましょう！



ぼくのからだに
ぴったりだね！

チャイルドシートの
おかげで安心！



シートベルトは成人用に作られています。
このため、**子どもがチャイルドシートを使用せず、
シートベルトを装着した場合、衝突時に身体を適切に
保護できず、首やお腹などに重大な傷害が発生する
おそれがあります。また、抱っこも大変危険です。**

【チャイルドシートの使用義務について】

道路交通法では、6歳未満の子どもを乗車させる場合は、
チャイルドシートを使用しなければならないとされています。



- チャイルドシートを使用しなかった場合、正しく
使用した場合と比べて、**致死率が4.2倍**というデータがあります。
- 使用していても、取付が不十分であったり、**正しく座らせなかった場合は、
大変危険**です。
- **6歳以上であっても、子どもの体格等の事情により、シートベルトの適切な
着用ができない場合などは、チャイルドシートを使用しましょう。**

※ JAF(日本自動車連盟)では、**身長「150cm未満」**をチャイルドシートの使用
目安としています。



詳しくは県HPへ

必ず、国の安全基準
への適合が確認され
たチャイルドシートを
使用しましょう！



国の安全基準への適合が確認されたチャイルド
シートには、以下のいずれかの表示があります。



※「43」以外の番号が付されている製品も適合品です。



交通事故をなくす福岡県県民運動本部
(福岡県・福岡県警察・市町村・(一財)福岡県交通安全協会ほか)



お子様を車に乗せる際の注意事項について

1. ※お子様を車に乗せる際は、必ずチャイルドシートを使用しましょう

【注意!!】 シートベルトは成人用に作られています。このため、子供がチャイルドシートを使用せずシートベルトを装着した場合、衝突時に体を適切に保護できず、首等に重大な傷害が発生するおそれがあります。また、抱っこも大変危険です。



(出典) 一般社団法人日本自動車連盟 (J A F)



(出典) 一般社団法人日本自動車連盟 (J A F)

※ 6歳未満の子供を乗せる場合は、チャイルドシートを使用しなければならないこととされています。チャイルドシートは、お子様の体格にあったものを選びましょう。

※ 6歳以上であっても、体格等に応じて、チャイルドシートを使用しましょう。
(J A Fにおける使用目安：身長 150cm 未満)

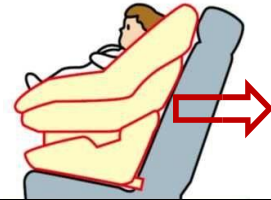
2. お子様はできるだけ後部座席に乗せるようにしましょう

【注意!!】 助手席では、膨張するエアバッグにより子供に被害が及ぶ場合があります。



エアバッグは、衝突時に乗員の被害を軽減する安全装置ですが、成人の体型を前提に設計されているため、体が小さい子供には、適切に機能しないことや、被害を大きくすることがあります。

助手席にチャイルドシート※を取り付ける場合は、助手席のシートを一番後ろに下げて前向きに取り付けてください。



※ 助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けることは危険です。

3. 国の安全基準への適合が確認されたチャイルドシートを使用しましょう

【注意!!】 国の基準に不適合のチャイルドシートでは、衝突時に子供を守れません。

国の安全基準への適合が確認されたチャイルドシートには、以下のいずれかの表示があります。



※ 「43」以外の番号が付されている製品も適合品です。



交通事故をなくす福岡県県民運動本部

(福岡県・福岡県警察・市町村・(一財)福岡県交通安全協会ほか)

